

大項目No	大項目	中項目No	中項目	レベル	観点	点検結果	点検結果が△または×の場合、その理由(改善・向上が必要と確認された事項を具体的に記載。)	改善計画	その他特記事項 (具体的に改善・向上した事項があれば記載)	分析項目に係る根拠資料・データ	
①	教育理念・学修目標	①-1	教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画の策定状況	学科等	具体的かつ明確な形で設定されているか、教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画と3つの方針との関係が必要に応じて意識されているか等	○				①-1-1_ディプロマ・ポリシー (生活学科) ①-1-2_カリキュラム・ポリシー (生活学科) ①-1-3_アドミッション・ポリシー (生活学科) ①-1-4_ディプロマ・ポリシー (幼児教育保育学科) ①-1-5_カリキュラム・ポリシー (幼児教育保育学科) ①-1-6_アドミッション・ポリシー (幼児教育保育学科)	
		①-2	教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画の策定プロセス	学科等	学生や採用権者の意見の考慮、所在する都道府県・政令指定都市教育委員会の策定する教員養成指標との関係性の考慮が行われているか等	△	(生活学科・栄養教諭) コロナ禍前は毎年教職課程履修者を対象に滋賀県教育委員会による教員採用に関する説明会を実施し、県の教員養成指標と本学の教員養成計画との関係性を確認する機会としていた。(現在はコロナ禍により対面の説明会ではなく県から送付された資料に基づき本学の教員が説明を行っている。)	(生活学科・栄養教諭) 計画策定・見直しの根拠として説明会の記録を残す。			
		①-3	教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画の見直しの状況	学科等	一人一人の学生が教職課程での学修を通じて得た自らの学びの成果(以下「学修成果」という。)や自己点検・評価の結果、社会情勢や教育環境の変化等を踏まえた適切な見直しが行われているか等	○					①-3-1_卒業生アンケート結果 ①-3-2_就職先からの卒業生評価アンケート結果 ①-3-3_教職課程振り返りアンケート結果(生活学科) ①-3-4_FD報告(幼児教育保育学科)
②	授業科目・教育課程の編成実施	②-1	複数の教職課程を通じた授業科目の共通開設など全学的な教育課程の編成状況	大学全体	複数の教職課程間における授業科目の共通開設は、開設に責任を負う学科等の強み・特色を生かしつつ適切に行われているか等	○				②-1-1_カリキュラム表 ②-1-2_履修系統図 ②-1-3_栄養教諭・幼稚園教諭の課程認定の授業科目等一覧表	
		②-2	教職課程の授業科目の実施に必要な施設・設備の整備状況	大学全体	ICT(情報通信技術)環境(オンライン授業含む)、模擬授業用の教室、関連する図書など、教職課程の授業科目の実施に必要な施設・設備が整備されているか等	○					②-2-1_子育て支援教育プレイルーム(大学案内等) ②-2-2_附属幼稚園・附属保育園(HP) ②-2-3_ラーニング・サポートセンター(大学案内等) ②-2-4_図書館(大学案内等) ②-2-5_OA教室1~3(大学案内等)
		②-3	教育課程の体系的性	学科等	法令及び教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画と対応に必要な授業科目が開設され適切な役割分担が図られているか、教職課程以外の科目との関連性が適切に確保されているか等	○					②-3-1_履修の手引き 【再掲】②-1-2_履修系統図 【再掲】②-1-3_栄養教諭・幼稚園教諭の課程認定の授業科目等一覧表
		②-4	ICTの活用指導力など、各科目を横断する重要な事項についての教育課程の体系的性	学科等	例えば、教員として身につけることが必要なICT活用指導力の全体像に対応して各科目間の役割分担が適切に図られているか、到達目標や学修量が適切な水準となっているか等	○					【再掲】②-3-1_履修の手引き ②-3-2_シラバス 【再掲】②-1-1_カリキュラム表
		②-5	キャップ制の設定状況	学科等	1単位あたりの学修時間を確保する上で有効に機能しているか等	△	現行のキャップ制が全学科の教育課程に適した内容となっているか、また学科別にキャップを設定する必要はないか教務委員会で検討中である。				【再掲】②-3-1_履修の手引き ②-5-1_滋賀短期大学授業科目履修に関する内規
		②-6	教育課程の充実・見直しの状況	学科等	学修成果や自己点検・評価の結果等を踏まえて充実が図られ、適切な見直しが行われているか等	○					【再掲】②-3-1_履修の手引き ②-6-1_令和4年10月企画委員会議題 ②-6-2_令和5年1月企画委員会議題 ②-6-3_幼児教育保育学科会議議題 ②-6-4_栄養教諭オリエンテーション資料
		②-7	個々の授業科目の到達目標の設定状況	授業科目	法令、教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画、学習指導要領及び教職課程コアカリキュラムへの対応が図られているか等	○					【再掲】②-3-2_シラバス ②-7-1_教職課程コアカリキュラム対応表
		②-8	シラバスの作成状況	授業科目	教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画と授業科目との関係、授業科目の目的と到達目標、内容と方法、計画、成績評価基準、事前学修と事後学修の内容等が明確に記載されているか等	○					【再掲】②-3-2_シラバス ②-8-1_令和4年11月教務委員会議題(シラバスの作成) ②-8-2_令和5年度シラバス作成の手引き ②-8-3_シラバスチェックシート
		②-9	アクティブ・ラーニングやICTの活用など新たな手法の導入状況	授業科目	授業科目の到達目標に応じ、少人数のアクティブ・ラーニングやICTを活用した新たな手法を導入し、「考える」「話す」「行動する」などの多様な学びをもたらす工夫が行われているか等	○					②-9-1_アクティブラーニング実施科目一覧 【再掲】②-3-2_シラバス
		②-10	個々の授業科目の見直しの状況	授業科目	学修成果や自己点検・評価の結果等を踏まえて充実が図られ、適切な見直しが行われているか等	○					【再掲】①-3-3_教職課程振り返りアンケート結果(生活学科) ②-10-1_履修の振り返りシート ②-10-2_教員ポートフォリオ ②-10-3_授業評価アンケート 教員コメント集 【再掲】②-6-1_令和4年10月企画委員会議題
		②-11	教職実践演習及び教育実習等の実施状況	授業科目	教職課程において特に重要な役割を果たす教職実践演習、教育実習(学校体験活動含む)は、事前指導・事後指導を含め、大学の主体的な関与の下で適切に行われているか等	○					【再掲】②-3-2_シラバス

大項目No	大項目	中項目No	中項目	レベル	観点	点検結果	点検結果が△または×の場合、その理由(改善・向上が必要と確認された事項を具体的に記載。)	改善計画	その他特記事項 (具体的に改善・向上した事項があれば記載)	分析項目に係る根拠資料・データ
③	学修成果の把握・可視化	③-1	成績評価に関する全学的な基準の策定・公表の状況	大学全体	成績評価基準に基づく評語と授業科目ごとに定められている到達目標の達成水準との関係等が明らかにされているか等	○				【再掲】②-3-2_シラバス 【再掲】②-3-1_履修の手引き ③-1-1_教務必携 【再掲】②-8-2_令和5年度シラバス作成の手引き
		③-2	成績評価に関する共通理解の構築	学科等	同一名称の授業科目を複数の教員が分担して開講している場合に成績評価の平準化を図ることができているか等	○				該当なし
		③-3	教員の養成の目標の達成状況(学修成果)を明らかにするための情報の設定及び達成状況	学科等	教員の養成の目標の達成状況を明らかにするための情報が適切に設定されており、それがどの程度達成されているか、教職実践演習に向けた「履修カルテ」を適切に活用できているか等	△	「履修カルテ」については、学期ごとに学生に記入させ担当教員が確認しているが、教員が確認したことが学生に伝わりにくい。	教員のフィードバックが学生に確実に届く仕組みを構築する。また、コメントを充実させ、より適切に「履修カルテ」を活用できるように努める。		③-3-1_履修カルテ作成の手引き ③-3-2_「教職実践演習」授業シラバス
		③-4	成績評価の状況	授業科目	各授業科目の到達目標に照らしてできるだけ定量的又は定性的に達成水準を明らかにし、厳格に点数・評語に反映することができるか、公正で透明な成績評価という観点から達成水準を測定する手法やその配点基準があらかじめ明確になっているか等	○				【再掲】②-3-2_シラバス 【再掲】②-3-1_履修の手引き 【再掲】③-1-1_教務必携 ③-1-2_GPA分布表 ③-1-3_令和4年8月教務委員会議題(授業科目別GPA(成績)の状況について)
④	教職員組織	④-1	教員の配置の状況	大学全体	教職課程認定基準(平成13年7月19日教員養成部会決定)で定められた必要専任教員数を充足しているか等	○				④-1-1_課程認定申請書類(幼児教育保育学科) ④-1-2_課程認定申請書類(生活学科)
		④-2	教員の業績等	大学全体	担当授業科目に関する研究実績の状況、担当教員の学校現場等での実務経験の状況等	○				【再掲】④-1-1_課程認定申請書類(幼児教育保育学科) 【再掲】④-1-2_課程認定申請書類(生活学科)
		④-3	職員の配置状況	大学全体	教職課程を適切に実施するため、事務組織を設け、必要な職員数を配置できているか等	○				④-3-1_組織図
		④-4	F D・S Dの実施状況	大学全体	いわゆる教科専門の授業科目を担当する教員や実務家教員も含め、教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画への理解をはじめ教職課程を担う教員として望ましい資質・能力を身に付けさせるためのF D・S Dが確実に実施されているか、適切な内容が実施できているか、実際に参加が確保できているか等	○				④-4-1_令和4年度FD学内研究会実施状況 ④-4-2_振り返りシート(FD)
		④-5	授業評価アンケートの実施状況	授業科目	個々の授業科目の見直しに繋がるF Dの機会を活用できるように、効果的な授業評価アンケートの作成・実施が行えているか等	○				【再掲】①-3-3_教職課程振り返りアンケート結果 ④-5-1_令和4年12月高等教育開発センター会議議題(授業評価アンケートについて) ④-5-2_授業評価アンケート実施要領 ④-5-3_授業評価アンケート結果 【再掲】②-10-3_授業評価アンケート 教員コメント集
⑤	情報公表	⑤-1	学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第172条の2のうち関連部分、教育職員免許法施行規則第22条の6に定められた情報公表の状況	大学全体	法令に定められた情報公表が学外者にもわかりやすく適切に行えているか等	○				⑤-1-1_教職課程情報(HP)
		⑤-2	学修成果に関する情報公表の状況	大学全体	大学が必要な資質・能力を備えた学生を育成できているかどうかを、エビデンスとともに説明できているか等	○				⑤-2-1_卒業生の教員免許状の取得の状況(HP) ⑤-2-2_卒業生の教員への就職の状況(HP)
		⑤-3	教職課程の自己点検・評価に関する情報公表の状況	大学全体	根拠となる資料やデータを示しつつ、わかりやすい自己点検・評価の評価書を公表することができるか等	—	令和3年度自己点検・評価報告書において全般的な教育内容に関する情報は公表している。教職課程の自己点検・評価は令和4年度から実施しているため、未公表である。	令和4年度の教職課程自己点検・評価結果をHPに公表する。		⑤-3_令和3年度自己点検・評価報告書
⑥	教職指導(学生の受け入れ・学生支援)	⑥-1	教職課程を履修する学生の確保に向けた取組の状況	学科等	教職課程に関する積極的な情報提供の実施ができているか、教員の養成の目標に照らして適切に学生を受け入れているか等	○				⑥-1-1_大学案内 ⑥-1-2_受験生応援サイト(HP)
		⑥-2	学生に対する履修指導の実施状況	学科等	必要な体制や施設・設備を整えた上で、個々の学生の教職に対する意欲を踏まえつつ、学生に教職課程の履修に当たって学修意欲を喚起するような適切な履修指導が行えているか、「履修カルテ」を適切に活用できているか等	○				【再掲】②-3-1_履修の手引き 【再掲】②-3-2_シラバス 【再掲】②-6-3_栄養教諭オリエンテーション資料
		⑥-3	学生に対する進路指導の実施状況	学科等	学生に教職への入職に関する情報を適切に提供するなど、学生のニーズに応じたキャリア支援体制が適切に構築されているか等	○				⑥-3-1_面接予定表 ⑥-3-2_就活に関する学生情報
⑦	関係機関等との連携	⑦-1	教育委員会や各学校法人との連携・交流等の状況	大学全体	教員の採用を担う教育委員会や各学校法人と適切に連携・交流を図り、地域の教育課題や教員育成指標を踏まえた教育課程の充実や、学生への指導の充実につなげることができているか等	○				⑦-1-1_実習連絡協議会開催記録
		⑦-2	教育実習等を実施する学校等との連携・協力の状況	大学全体	教育実習を実施する学校及び幼稚園などと適切に連携・協力を図り、実習の適切な実施につなげることができているか、体験活動や学習指導員としての活動など現場での体験活動を行う機会を積極的に提供できているか等	○				【再掲】⑦-1-1_実習連絡協議会開催記録 ⑦-2-1_実習先一覧(令和4年度) ⑦-2-2_実習受入に関する資料 ⑦-2-3_教育実習訪問記録
		⑦-3	学外の多様な人材の活用状況	大学全体	学外の諸機関との連携の下、教育課程を充実するために学外の多様な人材を実務経験のある教員又はゲストスピーカー等として活用することができるか等	○				【再掲】②-3-2_シラバス(「事前事後指導(栄養教諭)」「教職実践演習(栄養教諭)」「保育リーダー論Ⅰ」「保育リーダー論Ⅱ」) ⑦-3-1_就職支援講座実施計画